

第 19 回議会報告会 報告書

地 域 名	小佐地域		
年 月 日	平成 31 年 4 月 27 日 (土)	会 場 名	椿色公民館
開始時間	13 時 30 分	終了時間	14 時 50 分
参 加 数	男性 19 人	女性 1 人	合計 20 人
班 長	足立 隆啓	司 会 者	足立 隆啓
報 告 者	班員全員	書 記	政次 悟
班 員 名	足立 隆啓、田村 和也、政次 悟		
市 民		対 応	
報告に対する質疑	① 文化会館の経費が 44 億とのことであるが、合併特例債の活用もあると聞く。市の実質負担はいくらになるのか。	① 総事業費は 44 億 1,400 万円で、基金と一般財源分を除く 24 億 8,200 万円について合併特例債の活用が予定されている。国から 7 割の交付税措置もあることから、起債に対する養父市の実質負担は 7 億 4,400 万円程度となる見込みである。	
	② 市単独の治山事業の現状と次年度予算による事業はどのようなことになるのか。	② 平成 31 年度では小規模谷止め対策工事は市内 20 カ所で 1,000 万円と砂防堰堤流水路対策 1,000 万円が予定されており、石原区も対象となっている。	
	③ 水道事業の赤字が大きいが施設の統合計画はないのか。 水道料金はどうなるのか。水道料金は県内でも高いと聞くが、実態はどうか。	③ 統合計画も策定されており、小佐地区は八鹿からの配水が計画されている。関宮でも計画されている。 ・審議会において平成 35 年度までは現行料金体系を維持すべき旨の答申があり、市は答申に基づく対応とする方針である。 ・県内市町で見ると水道料金は上から 9 番目、下水料金で上から 7 番目、上下水道合わせた料金は上から 8 番目に高いまちとなっている。	

市 民		対 応
意見交換会 での質疑	① 妙見林道が荒廃している。市の答弁では名草神社の工事が完了した段階で整備をしたいとの話ではあるが、現状でも一部崩落している所もあり大変危険な状態にある。観光客もあることから、早急に対応されたい。	① 現地を確認するよう担当部に伝え、その経過は後日に連絡する。
	② 森林環境譲与税はどのように執行されるのか。	② 平成 31 年度は今後の体制、組織づくりや自伐型林業への取り組み、間伐業務を実施することになっている。今後は譲与税も増加することになる。
	③ 県道の白線が消えている所が多い、何とかならないか。	③ 担当部を通じ県に伝えてもらう。
	④ 八鹿病院の患者数が少ないように見受けるが現状はどうなのか。	④ 医師不足の現状にあるのは事実である。奨学金による医師も期待できる所もあるものの、まだまだ時間がかかるとわれ、これが患者数減少の要因になっている所もあろうかと思う。 ・医師数は平成 30 年 3 月末で常勤医が 29 名、嘱託派遣医師を含めて 37 名となっている。
その他 (提言など)	なし	なし
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和元年 5 月 7 日

報告者 2 班 班長 足立 隆啓

